学校番号	３１８

令和８年度　芸術科〔美術〕

教科	芸術	科目	（学）造形演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・造形演習では、風景スケッチ、水彩画、静物・彫刻デッサン、ロゴマーク制作といった多様な表現課題に取り組みます。
・それぞれの課題において、観察力、構成力、色彩感覚、造形的思考を養い、表現の幅を広げることを目指します。
・仲間の作品からも多くを学び、互いに刺激し合う中で、自己表現をより深めていきます。

2　学習の到達目標

造形美術は美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てる。
（ａ）私たちの生活や社会と密接に関わる美術や美術文化に対する理解を深める。
（ｂ）それを表現するための技能を身につけるようにし、それらの美的体験を重ねることで、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育む。
（ｃ）常に好奇心を持ち、主体的に取り組む努力を身につけ、心豊かな生活や社会を創生していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	材料や技能、造形の基礎知識を理解し、それを適切に活用して制作に生かす力を評価する。	主題や目的に応じた表現方法を考え、創意工夫をこらして制作に取り組む力を評価する。	制作活動に積極的に取り組み、自主的に課題に向き合う姿勢や、継続的に学ぼうとする意欲を評価する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	風景スケッチ	校舎や校舎周辺の風景を観察し、構図や遠近法に配慮したスケッチを行う。風景の特徴を捉える観察力と表現力を養う。	a：観察力を活かし、対象の特徴を的確に捉えて表現しているか。 b：道具や技法を適切に使用し、空間の奥行きや構図を工夫しているか。 c：スケッチに積極的に取り組み、継続的に制作に励んでいるか。	提出作品(スケッチにおける構図や遠近表現の理解)	提出作品(対象の特徴を捉えた観察と表現力)	制作に対する積極的な姿勢と維持力
	水彩画	水彩画の基本的な技法(にじみ、ぼかし等)を学び、身近な空の風景を題材に、色彩表現の工夫を通して豊かな表現力を育む。	a：水彩技法を理解し、適切に表現できているか。 b：構図、色彩の工夫やテーマに応じた表現の工夫がみられるか。 c：制作過程において意欲的に試行錯誤を重ね、完成をめざして取り組んでいるか。	提出作品(水彩技法の理解と活用)	提出作品(色彩や構成の工夫、表現力)	主体的なアイデア展開と表現への取り組み
2学期	静物デッサン	身近な静物を観察し、質感・形態・構図・陰影などを意識して鉛筆による表現を行う。基礎的な描写力の向上を目指す。	a：対象をよく観察し、形や質感を正確に表現しているか。 b：光と影の関係や構図に配慮した表現ができているか。 c：集中して丁寧に制作に取り組んでいるか。	提出作品(形、質感の正確な把握)	提出作品(構図、陰影の工夫と視覚的表現)	丁寧な観察と集中した制作態度
	彫刻デッサン	石膏像などの彫刻作品をモチーフに、立体物の構造やボリュームを捉えた表現を目指す。デッサンにおける立体感の理解を深める。	a：モチーフの立体的構造を理解し、正確に表現できているか。 b：明暗や陰影の使い方を工夫し立体感を効果的に描写しているか。 c：自ら課題を見つけて改善を重ねながら粘り強く取り組んでいるか。	提出作品(立体物の構造理解)	提出作品(明暗を活かした立体表現)	根気強い取り組みと表現の追求
3学期	ロゴマーク制作	テーマに基づいたロゴマークを企画・設計し、アイデアスケッチからデザイン完成までのプロセスを通して視覚伝達の基礎を学ぶ。	a：ロゴマークとしての機能や意味を理解し、目的に応じたデザインを考案しているか。 b：形・色・バランスに配慮した視覚的に明快な表現ができているか。 c：積極的にアイデアを出し、意図を持って表現に取り組んでいるか。	提出作品(ロゴデザインの目的理解と計画性)	提出作品(形・色彩・構成の工夫と伝達力)	主体的なアイデア展開と制作への意欲

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度